



August 2008 – March 2009

Child AFRICA *Annual Report*



About Child AFRICA



Child AFRICA(チャイルド・アフリカ)は、世界中の子どもが教育を受けられる環境作りを目的に、アーティストMISIAの提唱により、2008年に生まれました。



PR [for AFRICA]
国内でイベント・PRを通じたアフリカの紹介



Support
現地の子どもたちを支援する。



Message
知ったこと、考えたことを発信

- 団体名称: Child AFRICA(チャイルド・アフリカ)
- Ambassador: MISIA
- 代表: 長島 美紀
- 設立: 2008年8月1日
- 事務局員: 有給専従3名
- *Special Supporter*
ユッサー・ンドゥール(Youssou N'Dour、セネガル)
- *Advisor*
石田 洋子
((財)国際開発センター部長、東京大学大学院工学系非常勤講師)
勝間 靖
(早稲田大学大学院教授、早稲田大学グローバルヘルス研究所長)
黒田一雄(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授)
松本仁一(ジャーナリスト、元朝日新聞編集委員)
(社)日本ユネスコ協会連盟
- 問合せ先: Child AFRICA事務局
150-0001 東京都渋谷区神宮前1-14-13 (株)リズムメディア内
TEL&FAX: 03-5414-7778 E-mail: info@child-africa.org
URL: <http://child-africa.org>

学校に通えない子どもは世界に7200万人。
ま世界の9人に1人が文字を読むことができない。
その多くはアフリカで暮らしています。

教育こそ、人がより豊かな生活を過ごすために必要不可欠なもの。
アフリカにおける教育支援プロジェクトを通じて、
途上国の子どもたちの教育環境の改善を促進します。
アフリカの現状や取り組みを理解して日本の人々へ紹介することで、
アフリカからも学ぶことができます。

チャイルド・アフリカは、この日ア両方の橋渡しを通して、
よりよい世界、「こうなってほしい未来」作りに貢献します。

Why Education?



子どもの権利条約では、すべての子どもが、教育を受ける権利を認めています。
2000年に189カ国が達成を同意した国際的な目標、「ミレニアム開発目標 (MDGs)」でも、目標にすべての子どもが小学校に通えるようになることを掲げています。
しかし、世界各地で、その権利をはく奪され、読み書き・計算ができない子どもは大勢います。
世界の成人の5人に1人、成人女性の4人に1人が、文字の読み書きができません。
文字を読み、計算をすることは、人間にとって、社会で生きていくための基本的な権利であり、「貧困」から抜け出すためにも不可欠です。

アフリカのケニアとマラウイを訪問し、
教育は、“人生を生きる”ことに、そして“命を生きる”ことに、
直接つながるのだと、強く感じました。

そして学校は、子どもたちを守る大切なコミュニティであることも。

アフリカでは、1日1ドル以下の生活を余儀なくされる、
厳しい現実があります。

その過酷な状況下でも、
笑顔で力強く生きている子どもたちがいました。

そんな子どもたちの財産である彼らの輝く笑顔を守ることは、
私たちの未来の幸せを作っていくことだと思います。

学校のこと、教育のこと、子どもたちを取り巻く環境のことを、
もっと沢山の方と、学び合い、考え合い、そして行動し合い、
つながり合って行けたらと、「Child AFRICA」を立ち上げました。

マラウイで出会った女性は、
子どもの幸せは新しいことや楽しいことを知るプロセスにあると
教えてくれました。

世界中のすべての子どもたちに、
教育を通じて楽しいことや幸せを学んで欲しいです。

Activities: Aug. 2008-Mar.2009



2008

August

September

October

November

December

Event

★MISIAX早川千晶 トークイベント @東京・沖縄
★マラウイ・ケニア訪問
★写真展「A Day in the Life of AFRICA」特別協力@北海道
★12/23長島トークイベント出演

Support

★Child-Friendly Project 開始
★Child-Friendly Project 商品販売開始
★Hand-to-Hand Campaign開始

Message

★11/28朝日新聞でメッセージ掲載

PR

★ホームページ・メールマガジン開始
★メディア取材 朝日新聞・JICA WORLDなど
★アフリカ視察報告のウェブ掲載
★12/3 フジテレビ「とくダネ!」特捜エクスプレスのコーナーでマラウイ訪問紹介

事務局

★事務局設置
★外部からの問い合わせ受付開始
★視察渡航準備
★NPO法人認証申請準備

2009

January

February

March

Event

★代表長島が 東ティモール視察
★3/8長島代表講演@松本市

Support

THE TOUR OF MISIA DISCOTEQUE ASIAで Hand-to-Hand Campaign展開

Child AFRICAの設立の背景には、ユニセフが提唱する概念である、「子どもにやさしい学校 (Child Friendly Schools, CFS) 」に賛同したことがあります。

子どもが学校に通えるようになるためには、単に学校の設備を整えるだけではなく、現地政府による教育政策の充実やPTAや家族、教会などコミュニティを構成するメンバーも巻き込んで、子どもたちが楽しく通い、そして学習の成果が出る学校作りが必要です。

「子どもにやさしい学校」の概念に賛同して始まったのが、Child-Friendly Project.

2008年度は、オリジナルのメロンパンダ商品の販売、寄付などを実施。

集められた**総額2,499,850円**は、

日本ユニセフ協会を通じて、ユニセフが東ティモールで実施している「子どもにやさしい学校」に役立てられます。
2009年7月2日付で寄付されました

2009年2月には代表の長島美紀が、東ティモールの「子どもにやさしい学校」を視察。視察の様子はウェブサイトで見ることができます。
<http://child-africa.org/campaign/timor-leste/>

寄付内訳



Hand to Hand Campaign

- 合計金額: 1,126,742円
- 2008年12月～2009年2月までのMISIAコンサートツアー、「THE TOUR OF MISIA DISCOTEQUE ASIA」にて、募金を実施。



Child-Friendly Project指定商品の販売

- 合計金額: 100,800円
- 「Melon Panda Support UNICEF Child-Friendly School Project」が記載されたステッカーを張った商品を販売。売り上げ一個につき360円が寄付された。



一般寄付

- 合計金額: 731,518円
- 個人・団体の皆様からのご寄付。(2008年10月1日～2009年6月1日分)



Yahoo!ボランティア壁紙募金

- 合計金額: 540,790円
- Yahoo!が運営するボランティアサイトで実施した壁紙募金の収入。(2008年12月3日～2009年3月31日)

Visit to Malawi, Kenya



2008年11月、MISIAとChild AFRICAは
マラウイとケニアを訪問。

マラウイはChild AFRICAが立ち上がって訪問した最初の国、
そしてケニアは二度目の訪問となります。

マラウイではエイズ孤児の子どもたちと出会いました。
また、ごみも出ないほど貧しい生活を目の当たりにしました。
蚊の飛び交う小さな家で寝る子ども。
厳しい環境がそこにはありました。

ケニアでは2007年に続いて2度目のマゴソスクールの訪問。
ごみがあふれているキペラスラムは、マラウイの景色とは対照的でした。

彼らのために何かできないか。
その思いから、Child AFRICAは「Love Mug Cup」を作成、販売しました。
マグカップ1個の売上が、マゴソスクールの10人の子どもの給食費になります。
また、マゴソスクールで作られたNairobi Bagは、女性の収入創出につながりました。



PR/Event [FOR AFRICA]



Child AFRICAは、アフリカのことをもっと多くの人に知っていただきたいと考えています。
知っていただくために私たちができること。
さまざまなPRキャンペーン、イベント事業を[FOR AFRICA Project]として企画、運営しています。

MISIA X 早川千晶 トークイベント

- Child AFRICAの設立を記念した、MISIAと早川千晶さんのトークイベント
- トークイベントの様子は、OCNXMISIA Indexで限定配信されました。
<http://misia.ocn.ne.jp/childafrica/>
 - 日時: 2008年10月1日・19日
 - 会場:
JICA地球ひろば(東京、1日)
JICA沖縄国際センター(19日)
 - 司会: 船田クラーセンさやか(東京外国語大学)



「A Day in the Life of AFRICA写真展 ～国連ミレニアム開発目標(MDGs)達成に向けて～」特別協力

- オリンパス、北海道「写真の町」東川町、東川町写真の町実行委員会、北海道新聞社が共催した世界規模の撮影イベントに特別参加。MISIAがアフリカを訪れた際の写真を展示しました。
- 12月23日には代表の長島美紀がトークイベントに参加。Child AFRICAの紹介を行いました。
 - 日時: 2008年12月13日～29日
 - 会場: 北海道「写真の町」東川町文化ギャラリー
 - 協力: オリンパス株式会社、東川町写真の町実行委員会

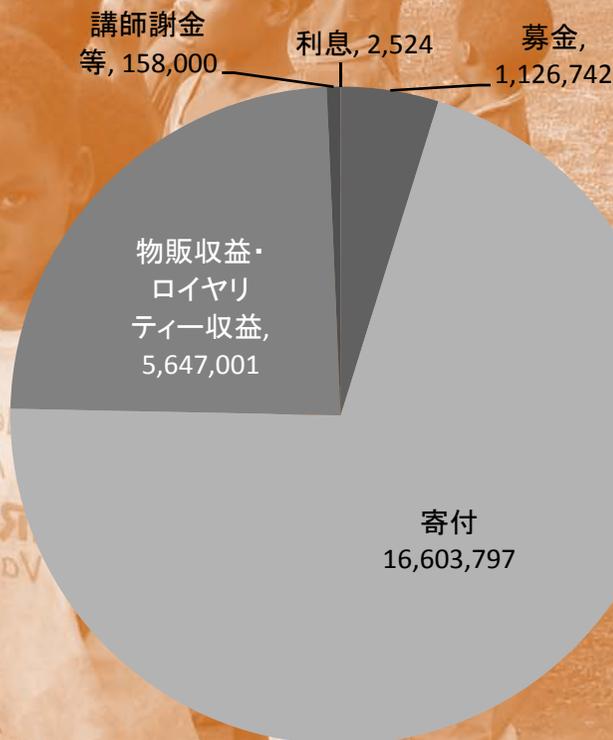
その他、Child AFRICAではウェブサイトの運営、メールマガジンの発行、外部メディアでの活動紹介など、定期的な情報発信に努めています。

Financial Report

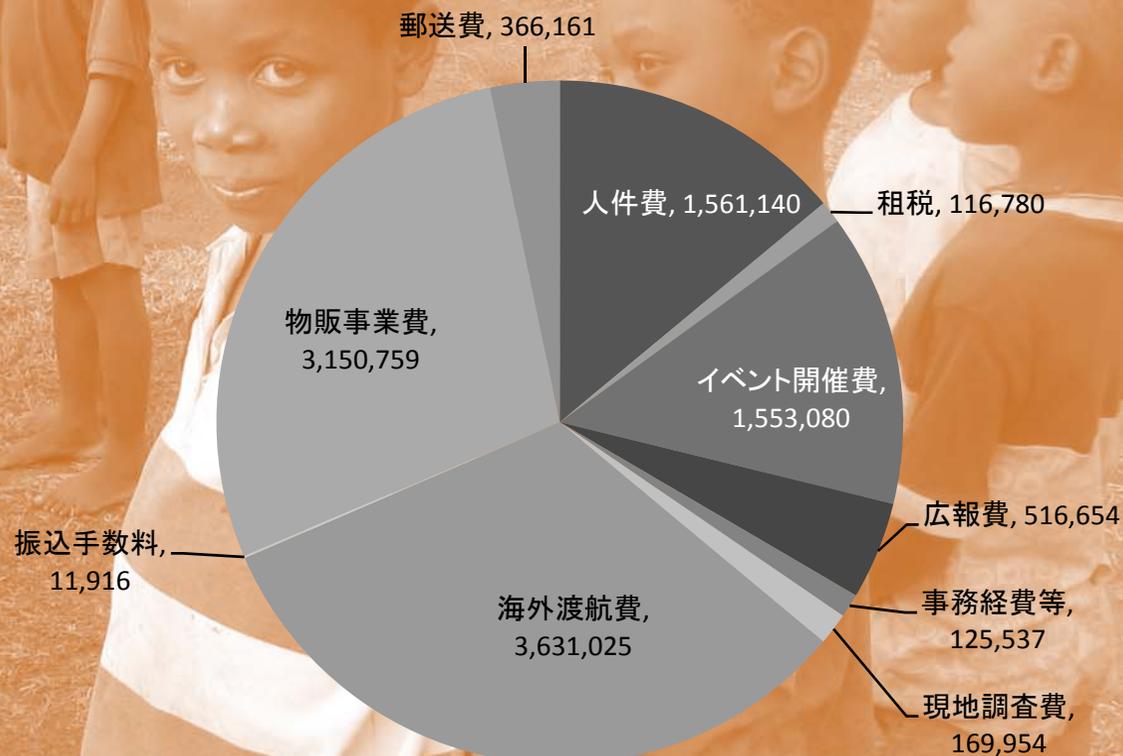
※2008年8月1日～2009年3月31日までの支出入



収入



支出



* 募金は、08年12月-09年3月まで行われたHand to Hand Campaignで得た募金のこと。